



まいばら

まんすりーれぽーと

上野区写真誌が発刊されました！ 「写真でふりかえる伊吹山物語 —神の山とあゆむ上野人—」

上野区の「みんなが楽しい伊吹山プロジェクト」が、上野区の写真誌を発刊しました。この写真誌は、明治以降の写真を中心に、近代の伊吹山と上野区の歩みを紹介するもので、約490点の写真をフルカラーで掲載しています。

「伊吹山と上野のことを知って、今後のまちづくりに生かしたい」と30～40歳代のメンバー12人が、2年6か月前から区民を中心に写真や資料集めを開始。集まった1500点もの写真を参考に、区民へ聞き取り調査を行うなどして、メンバーが分担して文章を執筆しました。編集作業に携わったメンバーは「厚みのある資料だが、自分たちが住む地域のことだから、興味をもって読めた」と話してくれました。

この写真誌は、市内の図書館で閲覧することができるほか、伊吹山文化資料館などで購入することができます。



▲編集作業の様子
(平成26年12月)



▲写真誌完成！（4月7日）

米原南工業団地への アクセス道路が開通 (3月27日)



県道彦根米原線から米原南工業団地を結ぶ道路「市道入江磯梅ヶ原線」の開通式が開かれ、県や市、地元自治会長や企業関係者などおよそ30人が出席しました。

この市道は、県道からJR東海道本線をまたぐ257メートルの橋梁も含め、全長1075メートルの片道1車線。

開通式では平尾市長が「交通の利便性だけでなく、地域の安全に寄与することを願う」とあいさつをしました。また、式の後には、出席者によるテープカットや通り初めが行われました。

春休み歴史体験祭で 古代の火起こしに挑戦 (3月27日)



市教育委員会が、伊吹山文化資料館で春休み歴史体験祭を開き、市内の親子およそ50人が参加しました。これは、埋蔵文化財を利用した体験イベントを通じて、子どもに古代の暮らしに触れてもらおうと開催されました。

午前には、まが玉作りや、消しゴムを削って作った土器や鏡などのはんこで、手ぬぐいをデザインする体験が行われました。また、午後の「火起こし体験」では、参加者が起こした火で、竹に巻いたパン生地を熱し、パン焼きも楽しみました。

坂田小学校で ゆるきゃら安全教室 (4月8日)



坂田小学校で、新入学児童を対象に通学時の交通安全と防犯の意識向上を図るためにゆるきゃら安全教室が行われ、新1年生84人が参加しました。

教室では、横断歩道を渡った児童の前に警察署員が扮する不審者が現れ、大声で叫ぶ練習をしました。児童らは元気いっぱい、大きな声で「助けて」と叫んでいました。ゆるきゃらと一緒に交通安全等について楽しく学んだ教室となりました。